



商品先物市場を取り巻く状況

これまで2回にわたり、商品先物取引の特徴、機能を紹介しました。最終回は、商品先物市場を取り巻く状況について紹介しましょう。

最近の商品相場

ここ数カ月、商品市況は全般的に上昇傾向にあります。特に上昇著しいのが金 (= Gold) です。NY金は、11月に連日の史上最高値更新となり、ついに1トロイオンス = 1,400ドルを超えました。国内金は、円高に圧されているものの27年ぶりの高値圏を維持しています。

金価格上昇の背景にあるのは、世界的な金融緩和。これに伴う長期的なドル安観測から、金へ投資資金が流入しているのです。また、インドや中国など新興国の旺盛な需要や、金ETF (= 上場投資信託) による買いも金価格上昇の下支え要因となっています。

注1: 1トロイオンス = 31.1035グラム

国内商品取引所の再編

2001年頃から始まった商品価格の上昇傾向に伴い、世界における先物取引の取引量は、アジアを中心に増大。昨年までの5年間でおよそ4倍に増大しました。一方、国内商品取引所の取引量は、2003年度をピークに減少傾向にあります。その取引量は、昨年までの5年間でおよそ1/3にまで減少しました。

海外の取引所で取引量が増大している背景には、取引所が電子システムの改良、取引時間の24時間化などに積極的に取り組み、また、取引所間のM&Aや国際連携等が行われた、ということが挙げられます。加えて、商品ETFに代表される、商品と金融とを融合させた投資商品の登場が市場の流動性を拡大しました。

一方、国内商品取引所は、2005年の法改正により営業勧誘規制が強化されたことにより個人投資家の取引が大幅に減少。海外と比べ、事業者の取引参入が少ないことも取引量の減少に拍車をかけました。さらに、農産物は農林水産省、工業品は経済産業省が管轄するという縦割り行政や、海外と異なり、同じ先物であっても商品と金融では管轄する省庁も法律も異なるという特殊事情等が取引所の再編を遅らせたといえます。

しかし、ここにきて国内商品取引所の改革・再編が急速に進展しています。現在、国内には4つの商品取引所があります。このうち東京工業品取引所は、2008年、会員商品取引所から株式会社に移行。併せて、世界最高水準の電子システムを導入するとともに、立会終了時刻を従来の15時30分から17時30分に延長。さらに、今年9月からは翌朝4時まで延長しました。一方、大阪商品取引所は、2011年1月までに貴金属、石油市場の取引を全て休止し、事実上解散する予定です。さらに、東京穀物商品取引所も、来年以降、農産物市場を東京工業品取引所に移管する見通しとなっています。

なお、2008年12月に投資信託・投資法人法施行令等が改正されたことにより、国内商品先物取引等に投資する投資信託の設定が可能となりました。従来に比べ、商品と金融との垣根が低くなってきているといえます。

商品取引所法の改正

2009年7月10日、「商品取引所法及び商品投資に係る事業の規制に関する法律の一部を改正する法律」が公布されました。

同改正法では、1年半後を目途に、商品取引所法と海先法（海外商品市場における先物取引の受託等に関する法律）を一本化し、名称を「商品先物取引法」に改称するとしています。現行では、国内取引所における商品先物取引のみが許可業種となっています。改正法においては、国内・海外商品取引所、店頭商品先物取引の全てが「商品先物取引業者」として許可業種となります。併せて、商品先物取引業者の委託を受けて、商品市場における取引の委託の媒介等を業として行う「商品先物取引仲介業」を新設。これは、事業者が商品市場を利用しヘッジ等を行いやすくなるよう創設されたものです。

さらに、同改正法においては、勧誘を要請していない顧客に対して一方的に勧誘を行う「不招請勧誘」の禁止などの規制が整備されることになりました。

改正法は「使いやすく」「透明な」「トラブルのない」商品先物市場の実現を目指している、とのこと。国内商品市場を取り巻く状況は、今後数年間で大きく変化していくことが予想されます。

資料 「産業構造審議会商品取引所分科会報告書 平成21年2月23日」「商品取引所法等改正法の概要」経済産業省

<< 著者プロフィール >>

三次 理加 氏

CFPR認定者。95年、商品先物老舗のカネツ商事（株）に入社、08年9月退職。06年月から09年3月までの3年間、『夕刊フジ』にコラムを連載。06年9月から09年3月までBS ジャパン（日経CNBC）「マーケットウィナーズ」に商品市況コメンテーターとして準ゲスト出演、現在はラジオNIKKEI 第1「ファイナンシャルBOX」に商品市況コメンテーターとして出演するほか、『証券新報』にコラムを連載中。著書に『ネットで簡単！リカがやさしく教える商品先物 超入門』（柏書房）、『入門 商品投資のすゝめ』（同盟出版サービス）がある。

今後のメルマガをより良い物とするために下記のページより皆様のお声をお聞かせ下さい。

<http://www.nichizei.com/fp-enquete.html>

メルマガ執筆者募集のお知らせ

税理士FP 実務研究会事務局では、FP 実務に関する様々なテーマでメルマガの執筆をしていただける方を募集中です。分野・テーマ等は自由です。最近の相談事例や得意分野など、ぜひ寄稿ください。執筆を希望される方は、税理士FP 実務研究会事務局【(株)日税ビジネスサービス 総合企画部】までご連絡ください。

TEL 03-3340-4488

